

令和 5年度 指定管理施設運営状況中間評価表

1. 施設の概要

施設の名称	むつ市介護老人保健施設やげん		
指定管理者	団体名	医療法人 章士会	
	代表者	三上 史雄	
	所在地	むつ市柳町一丁目8番22号	
指定期間	令和 4年 4月 1日 ~ 令和 9年 3月 31日 (5年間)		
指定管理業務の概要	介護サービス (介護老人保健施設)		

2. 収支の状況

※消費税及び地方消費税を含んだ額を計上すること。自主事業分は含まないこと。
 ※原則として他会計からの繰入金及び他会計への繰出金は含まないこと。

※人件費には、経常の指定管理業務にかかる人件費のみを記載し、臨時的な日雇い雇用などの賃金を含まないこと。

単位：千円

区 分	年間計画額 ①	上半期実績額 ②	増 減 (②-①)
収入合計 (A)	140,000	66,897	▲73,103
うち利用料金額	132,500	66,770	▲65,730
うち指定管理料	0	0	0
支出合計 (B)	140,000	67,411	▲72,589
うち人件費	103,000	51,149	▲51,851
収支差 (A-B)	0	▲514	▲514
市への納入金	0	0	0
計画額と比較した実績額の増減理由	年間計画：ベッド利用率 95.1% (27.6床/日) 上期計画：ベッド利用数 4.967 利用率 88.5% (27.1床/日) 上期実績：ベッド利用数 5.024 利用率 94.6% (27.4床/日) 達成率：101.1% 前同比：101.8% 年間計画進捗率：49.7%		

3. 施設利用の状況

単位：人

利用者数	区 分	年間計画 ①	上半期実績 ②	増 減 (②-①)
	介護老人保健施設 入所者延べ数	10,090	5,024	▲5,066

利用者の声とその対応状況 ※利用者アンケートの実施 (有・無)
 提案箱、苦情受付窓口の設置、支援相談員による利用者と家族との定期的な面談により、苦情や相談を収集していますが、今年度は、これまでコロナ感染症対策のため制限していた対面での面会、外出等を希望する声が多く寄せられおり、5類相当移行後、それらの希望について、それぞれ対応しております。

4. 自主事業の実施状況

単位：人、千円

事業名	利用者数	収入	支出
なし			

5. 個別項目評価 ※指定管理者と市の所管課が評価

評価基準 A (優良) : 計画された業務水準を大きく超える、独自の取組を実施するなど、特にめざましい成果をあげることが見込まれる。

B (適正) : 適正に指定管理業務を行っており、計画された業務水準を達成することが見込まれる。

C (要改善) : 指定管理業務の一部に課題があると認められ、改善の余地がある。

評価項目	自己評価	市の評価
(1) 施設設置目的に添ったサービス向上に関する取組み状況		
① 開館時間、休館日等を守り、施設利便性の確保に努めたか。	B	B
② 施設の使用許可、使用料減免等が適正、円滑に行われたか。	B	B
③ 利用者に対する接客マナー等、職員の勤務態度は適正だったか。	B	B
④ 利用者の意見を聴取し、それらを反映する取組みを行ったか。	B	B
(2) 利用促進に関する取組み状況		
① 施設利便性を高める努力を行い、効果が得られたか。	B	B
② 潜在的な利用者等に営業広報活動を行い、利用アピールをしたか。	B	B
③ 自主事業を企画・実施し、効果が得られたか。	—	—
(3) 効率性の向上に関する取組み状況		
① 施設管理経費を低減するための取組みを行い、効果があったか。	B	B
② 収入増を図るための取組みを行い、効果があったか。	B	B
③ 職員の資質・能力向上を図る取組みがされたか。	B	B
(4) 施設の適正な維持・管理に関する取組み状況		
① 施設の維持管理、運営に当たる人員配置は適正であったか。	B	B
② 設備・備品の維持管理及び修繕が適切に行われたか。	B	B
③ 労働関係法令等を遵守し、適正な管理を行ったか。	B	B
④ 利用料金の収受及び施設管理経費の支出は適正であったか。	B	B
(5) 平等利用、安全対策、危機管理等に関する取組み状況		
① 利用者が平等に利用できるよう施設利用情報提供に配慮したか。	B	B
② 日常の事故防止等の安全対策は適切であったか。	B	B
③ 防犯、防災対策等の危機管理体制は適切であったか。	B	B
④ 利用者の個人情報保護は徹底されていたか。	B	B

6. 指定管理者総合評価 ㊦自己評価をAとした項目の内容及びCとした項目についての改善策も記載すること。

むつ市の指定管理施設として、介護サービスの質の向上、遵法意識の向上、入所者の生活の場としての環境整備等に継続した取組みを行っております。

7. 市の所管課総合評価 ㊧市の評価をCとした項目についての指導内容も記載すること。

利用者と家族との定期的な面談を行っており、2類相当から5類へ移行後、対面での面会、外出等へ対応するなど、利用者と家族に寄り添った施設運営を行っている。
 今後も入所者の安心した生活を支援するための場として、引き続き、質の高いサービスの提供をしていただきたいと思います。